



青葉の詩

あおほのうた
第20号
菊陽町立菊陽南小学校
校長 渡邊浩文

インフルエンザの猛威!

四年ぶりの学年閉鎖!

まだまだ寒い!手洗いうがいを忘れずに!

六年生の休業!

一月も終盤の二十九・三十日(月

・火)に六年生は学年閉鎖となりま
した。インフルエンザに罹患して
しまう子どもが相次ぎ、二十六日
の時点で六年生は七名がA型に罹
患の診断を受けました。翌二十七
日(土)は小学校体育連盟主催のサ

ッカー大会でしたが、残念ながら
棄権することを決めました。

二十七日(土)からの四日間を六
学年閉鎖にしてお休みの措置を取
りました。実質学校が休みになる
のは、月・火の二日間ですが、土
曜からとすることで、休日の不用
意な外出や健康管理・感染予防に

細心の注意を払ってもらうため
でした。

過去にさかのぼって調べてみる
と、四年前にもインフルエンザに
よる閉鎖がありました。しかも、
その学年は二年生。なんと今の六
年生ということが分かりました。
うーん、偶然といえばそれまでで
すが、こんなこともあるんだなあ
と感じた次第です。

平成二十五年度の閉鎖は、やは
りインフルエンザでしたが、期日
が四月十七日から。なんと新学期
始まってすぐの頃。今が一番寒い
時期ですが、インフルエンザは春
になっても流行ることがあるん
ですね。日頃からの手洗いうがい、
ずっと続けるよう習慣化してい

たいものです。

持久走大会・延期!

学年閉鎖を勘案して、三十日(火)
に予定していました持久走大会、
オープンスクールを二月六日(火)
に延期しました。お仕事の都合を
ついたりお休み等を取られたり
して、楽しみにされていた方もお
られたかと思えます。学校の状況
をご理解いただき、次の機会での
参観・応援をお待ちしております。

海外からのお友達交流会!

本校は、ここ数年外国語活動を
校内研究のテーマに掲げ、研修を
深めています。ご存知のように、
新しい学習課程を定めた新学習指
導要領では、三年生から外国語活
動の時間が設定されています。五

年生ともなると外国語科となり、
一週間の中で二時間学ぶことにな
るのです。

それだけ日本にとっては、国際
化・グローバル化が直面する課題
といったところなのでしょう。
しかし外国語活動、外国語科は
単に英語を勉強するだけではありません。
世界に目を開き、多様な
言語があることや、それぞれの国
や文化を少しでも理解し、翻って
日本のよさや文化に気づくこと。

言葉はもちろんですが、身振り手
振り、表情・笑顔で、自分の気持
ちを伝えていくコミュニケーション
力を高めることも目標です。
昨年、熊本県教育委員会の研究
指定を受けた折り、外国語活動の
アドバイザーとして、菊陽町在住
の松本いづみ先生にご協力をお願
いしました。株式会社グローバル
スマイルジャパンを主催され、英
会話教室や留学、ホームステイの
企画・運営などをされています。
今回、その縁もあって、インド
ネシアからのホームステイで来日
している十二名の生徒と四名の先
生方が本校を訪問されることにな
りました。

ドドラゴン等々が、私のつたない
知識。うーん、もうちょっと調べ
てみようかとネットを眺めると、
人口は二億三千万人を超え、世界
第四位。東西に五千百km、一万
三千以上の島々からなる国土があ
ることが分かりました。地下資源
も豊富であり、首都ジャカルタに
はASEAN(東南アジア諸国連
合)の本部がある。若いけれども
勢いがある国という印象を持ちま
した。

そんな国からの訪問、交流会が
一月三十一日に実施されます。こ
の原稿は、その前に書いています
ので、詳しいことは、次回に載せ
ていきたいと思っています。子ど
もたちがどんな風にコミュニケー
ションを取って、交流を深めてく
れるのか、楽しみです。

編集後記!
あまりの寒さに私自身もやられ
てしまったようです。いや、身体
的にはなんともないし、インフル
エンザも予防接種のおかげか
うがいの効果か、今のところ兆候なし。
何がやられたか...気持ちというか、
気合いというか。寒いので何事
も億劫になってしまつたのです。
ただでさえ仕事が遅い(?!?)
のに、こうなってしまうと始末が
悪い。何事も、ついつい後回しに
なってしまう。原稿やら返信
やら、ああ、溜まってしまつて...
春を待ち望んでいます!

校長ナベちゃんのみちのくひとり旅日記 その11

7月16日は釜石泊まり。夕食を求めてぶらぶら歩くと、
明かりがたくさんついた一角。滑り台をはじめとする遊
具がたくさんあることから、児童公園であることが分か
る。そこに2階建てのプレハブが2棟。全て飲食店。そ
のうちのひとつに入る。遅かったせいか、ご飯は売り切れ。
酢飯しかないという。刺身やホヤ、銀ダラなどの陶板焼
きを食べる。三陸の海の幸はことのほか旨かった。

お店の大將に話を聞くと、以前の店は津波で流された
そう。ここでやっているとみんな来てくれる。それが
励みだと話してくれた。食べている途中にも、何組もの
来客がある。そのたびに大將は、ご飯がねえ、酢飯なら
あると繰り返す。幾度も繰り返すフレーズ、私が代わり
に言ってやろうかと思ってしまう。夜は更けていった。

翌17日は4時半起床。前夜かっておいたパンとコーヒ
ーで朝食とした。6時15分発の三陸鉄道南リアス線で「盛」
を目指す。NHK朝ドラあまちゃんて有名になったのは
北リアス線。津波で分断されたままだ。それに、何せ本
数が少ない。ここから南下して、明日熊本に帰るための
始発乗車だ。日の出は4時30分。外は十分明るい。調べた
らこの日の熊本は5時20分が日の出。狭いようで日本は広
いと感じた。

そうこうしていると6時15分発車。乗客は一両編成の客
車に二人。リアス式海岸の海沿いを走る。海に突き出た
岬、それに囲まれた深い入り江。トンネルを抜けるとそ
の繰り返し。地図で見ただけでは分からない風景がそこ
にある。天然の良港を形作ったリアス式海岸だが、岬に
ぶつかって入り江に入り込む津波は、とんでもない高さ
になってしまう。

やがて列車は、「綾里」という駅に着いた。昔、綾織姫
という機織りが上手な姫がいたという伝説が残るこの地。
実は30年程前に中学校の理科教員をしていた頃、出会
った地名でもある。当時の理科資料集に綾里の名が記して
あった。1896年(明治29)明治三陸地震による津波の高さ、
38.2m。授業をしながら生徒たちとどんな津波なんだろ
うと想像し、どんなところなのかと思いを巡らせていた。
列車はまたトンネルへ。(出口は近い(^_^;)続く...)

インドネシアってよく聞けれど
ども、私はどんな国か詳しくは知
りません。赤道直下、東南アジア、
スマトラ島もインドネシアで大地
震と大津波に襲われたところ。ジ
ャワ島。バリ島、コモド島、コモ

ドドラゴン等々が、私のつたない
知識。うーん、もうちょっと調べ
てみようかとネットを眺めると、
人口は二億三千万人を超え、世界
第四位。東西に五千百km、一万
三千以上の島々からなる国土があ
ることが分かりました。地下資源
も豊富であり、首都ジャカルタに
はASEAN(東南アジア諸国連
合)の本部がある。若いけれども
勢いがある国という印象を持ちま
した。